

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) イオンリテール株式会社 中四国カンパニー		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 732-0814 広島県広島市南区段原南 1 丁目 3-5 2	
本票作成	部署名：人事総務部 総務グループ				
主たる業種	分類コード	56	業種名：各種商品小売業		
事業の概要	GMS（総合スーパー）を実施しており、岡山県内では、4店舗営業しています。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	イオン倉敷店		岡山県倉敷市水江 1	
	②	イオンスタイル岡山		岡山県岡山市北区下石井 1 丁目 2 番 1 号	
	③	イオン津山店		岡山県津山市河辺 1 0 0 0-1	
	④	イオンスタイル岡山青江		岡山県岡山市北区青江 2-7-1 1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 30 年度)	(令和 3 )年度排出量	目標年度(令和 4 年度)
	11,974 t CO <sub>2</sub>	11,015 t CO <sub>2</sub>	15,900 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 3 )年度排出量
	①	イオン倉敷店	3,677 t CO <sub>2</sub>
	②	イオンスタイル岡山	2,886 t CO <sub>2</sub>
	③	イオン津山店	2,861 t CO <sub>2</sub>
	④	イオンスタイル岡山青江	1,589 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 元 年度 ～ 令和 4 年度 ( 4 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 3 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	8.0 %	△ 32.8 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 3 ) 年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 3 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

①冬季の空調使用増の為冷暖房使用増加の中、各店舗とも省エネチェックリストを使用した日常点検管理及びきめ細かい機器の日常管理を実施した結果Co2削減目標を達成出来た。  
 ②省エネ投資は、需要の増加している冷凍食品の冷凍ケースを省エネ効果の高い扉付きタイプに交換や追加。LED照明を更に省エネ効果の高いタイプに交換や、古い空調機器を省エネ効果の高いタイプに交換等の省エネ投資を積極的に実施して電気使用量を削減する事が出来た。  
 ③電気使用量削減を全社目標として取組、月度の推移を提示（見える化）する事により従業員の省エネ意識の高揚が図れ節電に結びついた。

**【推進体制】**

当社は、ISO14001の登録証を取得しており、環境負荷を出来るだけ起こさないように取り組んでいます。各店舗においては、店長がISO14001の推進責任者、人事総務課長をISO14001の推進担当者に認定し、主に、電気使用量の削減、食品廃棄売変の削減、廃プラスチック削減（ペットボトル店舗での回収2%増）を全社挙げて全店舗で取り組んでおります。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
イオン倉敷店 イオンスタイル岡山店 イオン津山店 イオンスタイル岡山青江店	(令和3年度実施分) ①電気使用量削減への取組 省エネルギーチェックリストを使用している ・空調：①店内温度の設定 ②空調の運転台数の制御 ・照明：①基本照明、間接照明の消灯時間の徹底 ②日没時間に合わせて照明時間を管理する。 ・冷ケース（冷蔵、冷凍）：①冷ケースの商品陳列についてロードラインを守る、エアーカーテンの稼働推奨。 ②各設備でのデフロスト（霜とり）時間分散化等きめ細かく実施。 ③店内機器保守点検と修理を確実に実施し機器の能力最適化を図る。 (今後の実施予定) 「イオン脱炭素ビジョン2050中間目標（2030年迄）店舗で排出するCO2を総量で50%削減（2010年度比）」に基づいて省エネ（電気使用量削減、創エネ（電気を創る・蓄える）、再エネ（再エネ電力を調達する）に全社挙げて取り組む。 ①令和4年度も令和3年と同様に多岐な視点で電気使用量の削減を実施していくコロナ禍での店内換気基準の継続の中省エネも達成する。 ②再エネの取組に関しては（RE100の対応2025年にモール店舗全店実施を目標に取り組む。 ③創エネに関しても太陽光PPAモデル店舗を実施してコスト削減を検証中。

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	有	全国10か所目標に2030年目標に全国10か所里山を目指す活動の一環として、2022年6月と2023年度松江市で里山づくりの植樹実施。

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	有	2025年目標に、RE100をモール店舗全店導入へ向けて2021年より順次取組スタート。

**【その他特記事項】**

①廃プラスチック活動として、「ペットボトル回収量昨対102.0%以上」を目標としてイオンリテール全店舗（デリバリーの無い店舗は除く）取組。  
 ②食品廃棄ロス削減へ向けて、「食品廃棄ロス率0.41%以下」目標に全店取組む。